研究開発テストベッドネットワーク（ＪＧＮⅡ）を活用した事例
～ 遠隔臨場感通信 ～

研究機関：岩手県立大学、東北大学、北陸先端科学技術大学院大学、京都大学、東和大学
（使用ＡＰ：東北2、東北4、北陸2、近畿5）

概要

■本研究プロジェクトでは、テレイマージョン（Tele-Immersion：臨場感通信）の基礎及び応用分野の研究開発支援を目的とした協調型遠隔臨場感通信研究開発環境をJGNⅡ上において構築する。JGNⅡを介して、日本全国に分散する研究者および研究施設間を相互接続することにより、遠隔臨場感通信システムを対象にした協調的な研究開発を実践する。さらに、本研究プロジェクトで開発された臨場感通信技術の社会的応用を目指し、JGNⅡ上でのシステム開発側およびコンテンツ制作側双方の交流を促進するコミュニティの形成を目指す。

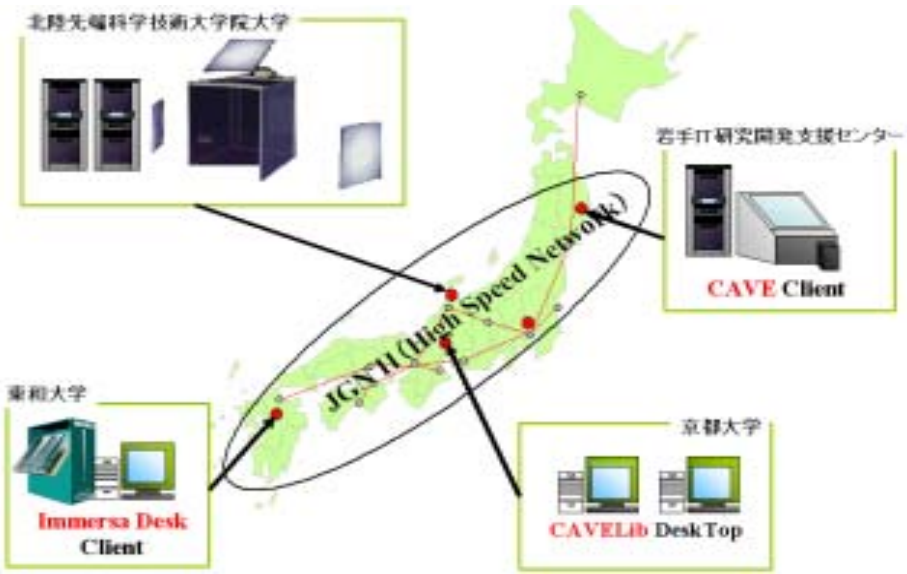
成果

■各大学および企業によりN3VR研究会を発足させ、VRに関する高度な技術交流や研究発表を定期的に実施し、若手研究者を育成。
■各大学間をJGNⅡにより相互接続し、各サイトの遠隔臨場感システム(CAVE)を共有して利用可能な環境を構築。
■各サイト間で、DV(Digital Video)による多地点映像システムにより、N3VR研究会を実施できる環境の構築。

今後の展開

■複数のサイト間で共有できる遠隔臨場感システムシステムアーキテクチャ、実装モデル技術の開発を行う。
■共有VR空間を複数のサイト間で容易な遠隔臨場感通信を可能とする通信プロトコルの開発および実験評価を行う。
■システム開発者とコンテンツ制作者との交流を支援できる環境やヒューマンインタフェースの開発。

実験構成



遠隔臨場感通信に関する研究開発支援環境の概念図

Copyright(C)2005 National Institute of Information and Communications Technology (NICT) All Rights Reserved